

「終わりよければ」いせの会 会報36

平成23年8月2日版

電話 05966・63・5226
ファクス 05966・63・5236

地域でのホスピスを考える公開講座
準備会 8月10日(水) 19時

今後決めること

- ① タイム・スケジュール
- ② 役割分担
- ③ 金田亜可根さんとの打ち合わせと資料
- ④ 広報活動 (市広報の掲載にそって)

伊勢のホスピス、市民が考えよう

最期まで希望が持てる人生をと、岡崎
で市民活動を続け11年の金田亜可根
さんが講師。施設ホスピスと在宅ケア
を身近に考えよう。400名先着順。

- ⑤ チラシ最終版(添付)の再配布の確認。
- ⑥ 金田さんよりの資料の読み合わせ

短期間で、集中しての準備になります。
ぜひとも、今回から参加してお力を貸して
ください。

「エンディングノート」講習会の報告

- 7月13日は、15名と最多の参加。
- 前半は志摩市で葬祭に従事される中川
さんから、宗派を超えた葬儀の実態を
説明。個別化と簡便化の流れ。無縁葬。
それでも菩提寺や宗派の確認は大事
- 事前相談や見積もり提示は当たり前前に。
直葬は後でトラブルを招かないように。
私は葬儀は「死に対する再認識の場」
として大事に思う↓ゆとりを持ち相談。
- 後半は美濃部さんの「伊勢市での現代
お葬式事情」の調査結果の説明。
- 葬式はよく話しておかないと、自分と
家族で立場と理解が異なってくる。
- 改宗によって先祖の供養と食い違いも。
寺に付属の墓地に入る場合が問題あり。
- 国民健康保険では5万円の葬祭料支給。
無縁者で身元不明者は市が火葬保管へ。
伊勢市の65歳以上は、3万5千人。
- その中で独居は、7771人。
- 市営墓地は環境課。お骨所持する人が
原則。永代供養は不可。使用料は最初
3万弱、年間2千弱。滞納で退去あり。
- 百弱ある共同墓地は市営ではない。
- 生前葬は人生の総決算、皆へ感謝の場。
お墓離れの風潮。手元供養、散骨など。
ネットでの葬儀相談は、無料で在る。

講習会(原則として、第二水曜日 夜7時~8時半) 縁の家にて 無料

	主テーマ	講師 (補佐役)	
4月13日	「介護の始まり」	森 (潮田)	終了
5月11日	「遺言の書き方」	浅沼 (井戸坂)	終了
6月 8日	「医療での意思伝達」	辻村 (野口)	終了
7月13日	「今の世の葬儀」	中川 (美濃部)	上記のごとく終了
8月10日		(講座前半の振り返り)あるいは講演の準備会	
9月14日		→ 9月10日の講演会に振替える(別会場)	
10月12日	後半(検討中)	全部で3回シリーズを検討中	
11月 9日	後半(検討中)		
12月14日	後半(検討中)		

☆出席の初回にノート資料をお渡しします(その後も持参下さい)
お知り合いを、気楽にお誘い下さい。

映画「エンディングノート」11月末 進富座にて上映準備中。
監督(砂田麻美・是枝裕和)のトークショーも。
詳しくは、映画HPで <http://www.ending-note.com/>

☆ 四日市市民大学でも、ノートの講習会
9月29日(木)遠藤が担当します。
「自分らしく生きる!」コースの中で。
このファクスが、ご迷惑な場合は、
その旨ご連絡をお願いします。